

あかるく かしこく たくましく

令和7年3月19日 卒業おめでとう号 文責：校長 佐野紳二

今号は6年生のみの配付となります。1～5年生の家庭には配付していません。ホームページでの公開となります。

祝・卒業 一人一人の無限に広がる未来に向かって

6年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。本で行われる卒業式の、「6年生に贈る言葉」の後半部分を掲載します。

62名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど、みなさんに手渡した卒業証書は、この6年間のみなさんの努力と成長の証です。本校で学んだ6年間の思い出と、みなさんを支えてくださった方々への感謝の気持ちを胸に、新しい世界へと歩み出してください。

みなさんの6年間の小学校生活は、そのおよそ半分がコロナ禍での生活でした。3ヶ月に及ぶ臨時休校や分散登校、学校生活の中でも数多くの制限が設けられ、できないことがたくさん毎日常続しました。しかし、昨年5月にコロナによる行動制限が解除され、日常生活が戻ってきてからは、小笠原小学校の高学年生として、さまざまな場面でみなさんの素晴らしい力を発揮し、活躍してくれました。特に今年1年間は、最上級生として全校の先頭に立ち、笑顔あふれる学校づくりを進めてくれました。

その中で、私が特に印象に残っているのは、どんなときにも仲間と声をかけ合い、お互いを励まし合いながら、みんなで一つ一つの活動にしっかり取り組もうとするみなさんの姿でした。修学旅行や親睦球技会、運動会などの行事や日々の授業の中で、みなさんの温かい声掛けや仲間を思いやる姿を見ることができたことが、とても嬉しく感じられました。

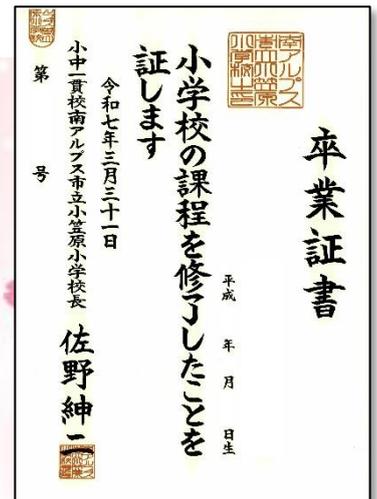
今年1年間のみなさんの活躍の様子は、過日発行した学校通信「明るく かしこく たくましく」の48号で紹介していますので、この場では割愛しますが、その一つ一つが小笠原小学校の最上級生として、胸を張って語る事ができるものだったと感じています。

小笠原小学校を巣立ち、新たな世界へと歩み始めるみなさんに、私から最後にひとつ、話をさせていただきます。小笠原小学校の学校教育目標、「自分を大切に、他者を大切にする」という言葉についてです。

「自分を大切に」とは、どういうことでしょうか。

心理学の本を見ると、自分を大切にすることは「自分自身を尊重し、自分を愛し、自己肯定感を持ち、自分のニーズや欲求を大切に、自分の幸福を追求すること」と定義づけられていました。言葉としては自分の中に入ってきますが、ちょっと難しい感じもします。そこで私は、「自分を大切に」という言葉に、3つの言葉を付け足してこの言葉を理解するようにしています。

- 1つ目は、「命」 自分の命を大切に。
- 2つ目は、「笑顔」 自分の笑顔を大切に。
- 3つ目は、「明日」 自分の明日を大切に。



「自分の命を大切にする」。生活科や理科、保健などで学習したと思いますが、お父さん、お母さんからいただいた、世界にたった一つしかない、かけがえのない自分の命を、どうか大切にしてください。

2つ目の「自分の笑顔を大切にする」ことについては、先日も6年生のみなさんに話をさせていただきました。心と体は深くつながっています。自分が笑えないな、と感じたら、しっかり心と体を休めてください。そのあとで、鏡を見て笑顔をつくってみてください。自分自身の笑顔が、明日へと進んでいくためのパワーを、あなたに与えてくれるはずですよ。

3つ目の「自分の明日を大切にする」とはどういうことでしょうか。

誰もが、自分自身とは一生付き合っていきます。自分自身のことが嫌だと思っても、他の人と入れ替わることはできません。明日も、10年後も、その先も、自分は自分です。だから、未来の自分が困るようなことを、今の自分がしないようにするのは、自分の明日を大切にするためには、今を精一杯生きることが大切です。今できること、今しかできないこと、今やるべきことは何かを考え、実行する決断力と勇気を持ってください。

「他者を大切にする」

これは、自分以外の人にも「大切にすべき自分」と同じ存在であることに気づき、他者の命と笑顔と明日を大切にするということです。言い換えると、自分がしてほしいことをほかの人にもしてあげること、自分がされて嫌なことをほかの人にしないこと、他の人に迷惑をかけないで生きるということだと、私は考えています。相手を思う気持ちを、「思いやり」というかたちにして表現できる人になってほしいと願っています。

卒業生のみなさん、私はみなさんの温かい笑顔が大好きです。これからも、その素敵なスマイルを大切に、頑張っていってください。そして、小笠原小学校の目標である「自分を大切に、他者を大切にする」ことを心のどこかに留め、自分の道を切り拓いていってください。私たちはずっと、みなさんのことを応援しています。

卒業生の皆さんの輝かしい未来が、スマイルいっぱいの幸せあふれるものになることをお祈りして、卒業生に贈る言葉といたします。



令和7年3月19日

小中一貫校南アルプス市立小笠原小学校

校長 佐野 紳二

今年1年間、私は何度も6年生の教室にカメラを片手にお邪魔したり、いくつかの行事で6年生と一緒に活動したりしました。そのたびに、話しかけると笑顔で言葉を返してくれる、そして、いろいろなことに真面目に、前向きに取り組むことができる皆さんと一緒にいるのがとても心地よく、楽しく感じました。

大好きな6年生のみなさんと会えなくなるのはとてもさみしいけれど、みなさんの素敵な笑顔を思い出して、私もこれからも頑張っていこうと思います。

卒業生のみなさんも笑顔でがんばってください！

